

啐 啄 同 時

平成 28 年 6 月

校長室だより

学校教育目標「大好き自分 大好きみんな 大好き芦田」

今月 3 日、芦田小学校 143 回目の創立記念日に「芦田小ヒストリア」という閉校記念行事を行いました。3 名の本校卒業生による「芦田小の歴史」を語っていただきました。芦田小の歴史を探っていくと、何とんでも「90 年間校歌がなかった」というミステリー。そして、「当時退職を控えた安井威彦校長が、作詞を俳人細見綾子氏に、作曲を武庫川女子大学創設者 公江喜市郎氏に依頼し、森 清教授が作曲し校歌誕生」というドラマには本当に熱きものを感じます。

しかし、「校歌にまつわるミステリー」は、まだ 終わらなかった・・・【その 1】

昭和 41 年、細見綾子作詞の芦田小校歌ができるまでは、校歌の代わりに下記の「運動唱歌」が歌われていたように聞いていました。この運動唱歌は、昭和 41 年までの卒業生にとっては、とても懐かしい歌のようです。

運動唱歌（楽譜有）
一 空に聳びゆる 大箕山 高き姿を日に仰ぎ
二 洋々流るる 佐治川の 清き流れに 身を洗う
三 ここぞ我等の 運動場 朝日の光が 輝けば いざわが友よ うちつれて 楽しく今日も遊ばまし
四 三春の恵みに 花咲けば 小鳥はわらう 学び舎に 五百有余の はらからは めでにし園に 育つなり
五 地をやく 夏の盛りには 玉なす汗に 身を鍛え 深き流れに ゆあみして 真黒の肌を 誇るなり
六 五谷間のもみじ色づけば 稲の穂みのり秋ふけぬ 体きたえん もろともに リレーテニスにジャンピング

ところが、今回、大西明美さんのお話を伺うと、

「昭和 36 年頃まで「校歌」に代わる歌「自治のうた」を式の時に歌っていたと思います。

戦後の教育改革により、児童の自主性、創造性を伸ばすことが求められるよ



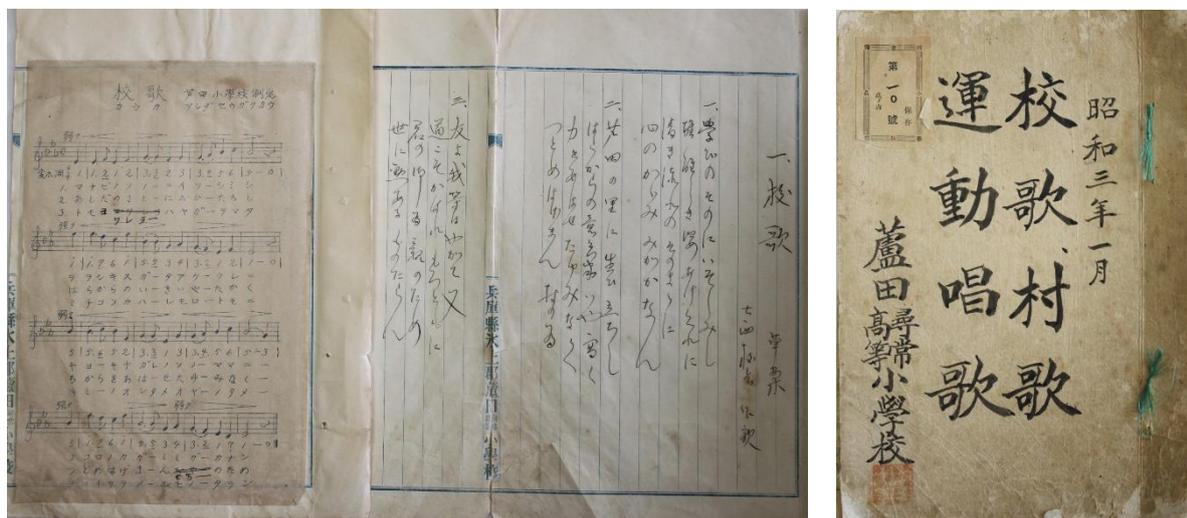
自治のうた
一 芦田の里の土の香に めばえる我を見つめつつ 正しく強く清らけく 今日も楽しく歩まん
二 芦田の里の意気高く めばえる星を見つめつつ 正しく強く清らけく 今日も元気に歩まん

うになり、昭和 21 年に児童自治会が発足しました。昭和 26 年、この児童自治会の名称を公募により「伸びる会」と決定し、月 1 回の自治会が開かれるようになりました。その当時学校には校歌がないから・・・と、樋口藤作先生が「自治のうた」を作られ、

それが「伸びる会」の歌となり、校歌の代わりに歌われていました。」という内容でした。

さらに、「校歌にまつわるミステリー」は、まだまだ 終わらなかった・・・【その2】

芦田輝夫さんにお話を伺っていると、「昭和3年には『校歌』があった」・・・ということでした。「学校に書いたものが残っているはずだよ」とお聞きし、探してみると、下記の「校歌、村歌 運動唱歌 蘆田尋常・高等小学校」がありました。「歌詞と楽譜」も記載されており、この校歌は第7代 大西 要校長が作詞、作曲をされたようです。



昭和41年2月までに、2つの校歌がつけられたようですが、残念ながら定着には至りませんでした。それがどうしてなのか・・・は、**未だにミステリー**なのです。
何か情報がありましたらご連絡ください。

校歌	草案(楽譜有)
大西 要	作歌
一 学びの園にいそしみし おおしき姿あけくれに 清き流れの そのままに 心の鏡 みがかなん	
二 芦田の里に生い立ちし 同胞の意気いや高く 力を合わせたゆみなく つとめ励まん村のため	
三 友よ我等はやがてまた 道こそ変われもろとも 君のおんため親のため 世に勲あるものたらん	

6月 芦田っ子の「きらい俳句コーナー」

芦田っ子 5月の俳句

しろかきで	ことしものった	トラクター	2年	西本	てっぺい
カブトムシ	おへやをつくって	あたたかい	2年	小田	たいせい
糸まいて	さなぎの中で	じっと待つ	3年	中山	ゆず
子どもの日	親に親しみ	礼をいう	3年	大西	かえで
仏壇の	警備はかぶとに	たくすんだ	4年	芦田	ゆうへい
こいのぼり	家族そろって	遠足だ	4年	芦田	こと
おいしいの	スーパー緑茶	母の味	5年	妹尾	りん
上の方	わたしはここよと	こいのぼり	5年	蘆田	あおい
ランドセル	みんなより大きい	1年生 (4月作)	6年	小高	たいち
たんぼぼが	みんなを見守り	笑ってる(4月作)	6年	岩崎	いつき